

広島修道大学 広島学（広島・ヒロシマで学ぶ、広島・ヒロシマを学ぶ）

1 講義題目

「今・ここ」のヒロシマーヒロシマの平和、平和のヒロシマ

2 講義の対象

新入生

3 講義の概要と方針

講義の柱は二つ。一つは、広島市が世界の大学に設置をすすめる「広島・長崎講座（被爆都市広島、長崎の事実を後世にいかにつづけていくか）」の中味、いま一つは、「今・ここ」の広島を学ぶこと。広島修道大学が広島市に位置する以上、「ここで、今」学ぶことの意味を学生に体感させること。修道大学に来る留学生が増えてきている今、又、修道大学から海外に出て行く学生が増えている今、世界の国々に、「今・ここ」の広島を伝える中味・その伝え方を模索する。

4 講義計画

講義は、現地学習があることから、人数を制限せざるをえない。従って、同じ中味の講義を、前期、後期と2度行う。授業は金曜日の1限目にあるが、現地学習は土曜日となる。なお、以下に記すスケジュールは前後する可能性があり、その詳細はそれぞれ前後期の講義や掲示等で示す。

- 1) 「広島学」概要説明（担当者 森島吉美、市川薫）
- 2) 「広島・長崎講座」の趣旨説明（担当者 森島、広島市長ほか）
- 3) 平和問題とジャーナリズムのあり方
（担当者 森島、中国新聞編集委員 田城明）
- 4) 青少年国際平和交流と平和問題
（担当者 森島、広島国際青少年協会総主事 林寿彦）
- 5) 現地学習のための事前授業
今回以降8)までは、受講生は2グループに分かれる。
A班：広島原爆死没者追悼平和資料館について（森島担当）
B班：江田島海上自衛隊第1術科学校について（市川担当）
- 6) 現地学習（土曜日の予定）
A班：広島原爆死没者追悼平和資料館（被爆者体験の語りを聞くことも含む）
B班：江田島海上自衛隊第1術科学校見学
- 7) 現地学習のための事前授業（A/B班の訪問先が入れ替わる）
A班：江田島海上自衛隊第1術科学校について（市川担当）
B班：広島原爆死没者追悼平和資料館について（森島担当）

8) 現地学習(土曜日の予定)

A 班：江田島海上自衛隊第1術科学校見学

B 班：広島原爆死没者追悼平和資料館

(被爆者体験の語りを聞くことも含む)

9) 神楽の今と昔(担当者 山口大学 辰己佳寿子)

10) 丸木美術館「原爆の絵」展覧会について事前授業(担当者 森島)

11) 広電一人を運ぶ、人を結ぶ

(担当者 広島電鉄株式会社 電車カンパニー・プレジデント 中尾正俊)

12) 瀬戸内海の「動と静」(担当者 株式会社ちから社長 小林広典)

13) 講義のまとめ(担当者 森島、市川)

5 履修上の注意事項

現地学習、学外の講師を招くことから、授業態度、時間の厳守が求められます。又、現地学習は、バスで移動したり、授業日は変則的に土曜日になります。

6 学習の到達目標

広島の「今・ここ」を「今・ここ」で学ぶこと。「今・ここ」の広島を語る力を手に入れること。

7 成績評価基準

授業への出席、積極参加。レポート提出。

8 テキスト

特になし。

9 参考文献

講義の中で適宜指示。